

安足地域



- 足利市
- 97 名草上町
- 98 福居町
- 佐野市
- 99 越名町
- 100 飛駒町
- 101 仙波町
- 102 牧町

「とちぎのふるさと田園風景百選」記念シンポジウム

- ・「とちぎのふるさと田園風景百選」の認定を記念して、平成 23 年 2 月 2 日、県総合文化センターメインホールで記念シンポジウムを開催しました。
- ・造園家で東京都市大学教授の涌井雅之氏の基調講演や、福田富一知事はじめ 5 名の方をパネリストにパネルディスカッションが行われ、約 1200 人の参加者が熱心に耳を傾けました。

○ 基調講演

講演者：涌井 雅之(わくいまさゆき)氏〈造園家、東京都市大学教授〉
タイトル：「景観から見た日本のこころ」

○ パネルディスカッション

テーマ：「百年後にも誇れる田園風景をめざして」
コーディネータ：臼井 佳子(うすい よしこ)氏 フリーアナウンサー
パネリスト：安藤 勇寿(あんどう ゆうじ)氏 児童画家(百選応援団)
島田 恭子(しまだ きょうこ)氏 陶芸家(選定委員)
福田 富一(ふくだ とみかず)氏 栃木県知事(実行委員長)
佐藤 栄一(さとう えいいち)氏 宇都宮市長(市長会長)
古口 達也(こぐち たつや)氏 茂木町長(町村会長)



▲パネルディスカッション

○ 認定証授与式

・認定された 102 の地域を代表して、彫刻屋台と田園風景、山本太々神楽、原地域の棚田などが選ばれた益子町山本に、福田知事から「百選認定証」が授与されました。

○ 写真展示

・シンポジウム当日を含めた 3 日間、県総合文化センターギャラリーにおいて、認定された 102 地域の応募写真展示会を開催しました。



黄金色のジュウタン

名草地区は自然と歴史・文化が調和した美しい地域です。秋の山あいには、刈り入れ前の稲穂が黄金色に輝き、美しい田園風景が広がります。



里地で親子一緒に「田んぼの学校」!

名草地区では、地域の豊かな資源を活かした都市農村交流活動が行われています。その活動の一つ「田んぼの学校」では、田植えから稲刈りまで、一連の稲作作業の体験を提供しています。



県南西部、足利市の中心部から北へ約 10km に位置する名草上町。名草川上流にある自然豊かな山間の集落で、地区北部には国指定天然記念物「名草巨石群」があります。築 150 年の古民家を移築した「名草ふるさと交流館」では、地域資源を活用した様々な農林業体験や自然体験を提供しています。



歴史的疏水 三栗谷用水

三栗谷用水は、安土桃山時代に農業用水として引き入れられた歴史的用水路で、北は渡良瀬川、南は群馬県に接する水田地帯、通称「三栗谷田圃」と呼ばれている地域一帯を潤しています。地元農家の維持管理作業により、三栗谷用水は今日も淀みなく流れ続けています。



県南西部、足利市の中心部から南へ約 4 km に位置する福居町。かつて日光例幣使街道 7 番目の宿場町「八木宿」としてにぎわい、八木節発祥の地としても知られています。この地を流れる三栗谷用水では、戦後間もなく始まった「灯籠流し」が行われており、地域の人たちにとって今やかかせない夏の行事となっています。



風薫る三轟山と ひえだ橋

越名沼排水路に架かる“ひえだ橋”は映画のロケ地にも選ばれるなど時代を感じさせる風情ある農道橋です。



三轟山と旧越名沼

万葉集にも詠まれた山容の美しい三轟山(みかもやま)を背景に、昭和30年代、干拓事業で整備された旧越名沼の田園風景が広がります。



県南西部、佐野市の中心部から南東約5kmに位置する越名町。地区の中央を流れる三杉川の東岸には、旧越名沼を干拓した田園地帯が広がっています。かつて、旧秋山川に「越名河岸」が置かれたこの地区は水運業が盛んに行われ、葛生の石灰をはじめ佐野綿縮、天明錆物など佐野地方の産業を発展させました。



五月の田植え

5月の風に元気に泳ぐこいのぼりのもとで田植えが行われています。昔から続く、のどかな飛駒地区の農村風景です。

飛駒湧水の里公園での 生きもの調査

年間を通して絶えず清水が湧き出る“飛駒湧水の里公園”は、地域住民の憩いの場となっています。公園には、湧水に育まれた様々な動植物が生育しており、地元ではこの貴重な自然環境を保全する活動が行われています。



県南西部、旧田沼町の中心街から北西約1.5kmにある佐野市 飛駒町。中央には清流彦間川が流れ、周りを多高山などの美しい山々が囲む自然あふれる里山の集落です。朝晩の寒暖差が大きいこの地域では、農業とともにかつては炭焼きや紙すきなどが盛んに行われていました。



秋空とそば畑

仙波地区には多くのはそば畑が広がり、毎年9月になると白いそばの花があちこちに咲き乱れます。この地域では昔から良質なそばが栽培され、近くには地元仙波産のそば粉のみを使った老舗が数多くあります。



日本一の野州麻

栃木県は質量ともに日本一の麻の生産地ですが、仙波地区でも県特産の野州麻が栽培されています。麻の葉の鮮やかな緑色は、生育とともに徐々に黄緑色へと変化し、美しい景観をつくり出します。



咲き誇る彼岸花

仙波はそばで有名ですが、そば以外の仙波の名物を目指し、地元の人たちが毎年少しずつ彼岸花の植栽を継続しています。9月中・下旬には咲き誇る彼岸花が見頃を迎えます。



県南西部、旧葛生町の市街地から北へ約6 kmに位置する佐野市 仙波町。山あいにある集落の中央をホテルが飛び交う仙波川が流れ、その沿岸には水田とそば畑が繋がっています。この地区には、古くから伝わる郷土料理「耳うどん」があり、無病息災、魔除けを願う縁起物の料理として親しまれています。



牧のそば畑の群落

牧町地区は、郷土の伝統芸能「牧歌舞伎」で有名ですが、県内有数のそばの産地としても知られています。9月には、木々の緑に囲まれた山あいのそば畑が一面真っ白に染まり、のどかな里山の秋を感じさせてくれます。



県南西部、旧葛生町の市街地からおよそ6 km北に位置する佐野市 牧町。地区の中央を清流秋山川が流れ、その東岸の沢地帯に農地と集落が広がっています。地区北部にある「牧親水公園」は、春は桜の名所として、夏は親水プールで遊ぶ子どもたちで大いににぎわいます。